

-茂原 MOTOWEST-GP 第5戦 レースレポート-

(Text: S.Tomimoto Photo: H.Kawano)



- 2018年シーズンを制したのはNo. 47 Team ドルフィン -

レースレポート

2018年11月25日(日)、茂原ツインサーキットにて茂原 MOTOWEST-GP 第5戦が開催された。

予選ではポイントリーダーのNo.56 teamTRS(小沼・富本組)がポールポジションを獲得、これで teamTRS は今期全戦予選1位となった。続いて5ポイント差でランキング2位につけるNo.47 Team ドルフィン(安田・呉組)、No.2 Team K2(木下・栗原組)、新規参戦のNo.25 Vanda Racing 厚木(奈良・難波組)がサプライズの4位、No.1 チーム赤蜻蛉(粕谷・筒井組)、No.69 RS 鈴乃木(本橋・小田切組)、No.3 コンビネーション RT (渡辺・藤原組)、ニューマシン投入のNo.8 パワーパイプ RT(高橋・鈴木組)となった。

決勝レースのホールショットを決めたのは予選2位の Team ドルフィン、teamTRS がこれに続くがオープニングラップの最終セクションで接触を避けた teamTRS がコースオフ、再スタートは切れたが大きく遅れをとってしまう。2位争いは初レースの Vanda Racing 厚木がベテラン勢を相手に健闘、チーム赤蜻蛉と Team K2 にかわされるもポテンシャルの高さを見せた。レース中盤、teamTRS がコースレコードを更新しながら怒涛の追い上げを見せ、残り4周時点で2位を走行するチーム赤蜻蛉とドックファイトを展開。トップと2位の差も2秒となりチャンピオンシップをかけた熾烈な争い観客を盛り上げた。最後までリードを守りきった Team ドルフィンが優勝し逆転でシリーズチャンピオンを獲得、2位にチーム赤蜻蛉、オープニングラップが悔やまれる teamTRS が3位、以下、Team K2、Vanda Racing 厚木、RS 鈴乃木、コンビネーション RT、パワーパイプ RT の順で全車完走し今シーズンのレースを終えた。